

地域の暮らしを話す会

令和2年度実施報告書



社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会



目 次

1. 地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは	p 2
2. 令和 2 年度実施報告	p 4
3. 地域の暮らしを話す会の効果	p 6

【各地区の意見詳細】

①日 新 地区	p 10
②佐野台 地区	p 14
③末 広 地区	p 15
④一 小 地区	p 17
⑤長 滝 地区	p 21
⑥日根野 地区	p 24
⑦南 中 地区	p 29
⑧中 央 地区	p 31
⑨二 小 地区	p 34

地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは

1.地域の暮らしを話す会（住民座談会）ってどんなもの？

→地域の困りごとを地域住民で話し合っって把握する場です



「住民座談会」とは、例えば「小地域」ごとに住民の皆さんが1か所に集まって、『地域』の現状や課題（いいところや困りごとなど）を話し合っって把握し、地域の将来像を考えあう場のことです。住民座談会で出たことは「地域福祉活動計画」に反映されるので、自分たちが「住み続けたい」地域の将来像を実現する手がかりとなります。

なぜ座談会が必要なの？

3つの理由があります。



2.住民座談会がなぜ必要なの？

→豊かに安心して住み続けられる地域社会づくりのために



最近、家族や地域住民間のつながりが希薄になってきたと感じることはありませんか。日本では今、そうした社会状況が進む中で、虐待・ひきこもり・暴力・自然災害の対応・自殺など、社会問題が多様になり複雑化しています。

私たち住民の多くは、地域で安心して豊かに住み続けられることを願っています。そのためには、だれもが地域から孤立することなく、いろいろな生き方を認め合い、つながりを持ちながら生活できる新しい地域社会をつくっていくことが必要です。

→地域のことは、地域できめていくために



「自分たちの生き方やそれに合った地域づくりは、自分たちで決めていこう」といった市民活動の動きが、各地で活発になりつつあります。

新しい地域社会をつくるには、住民の皆さん自らが地域の現状を把握し、「住み続けたい」「住んでみたい」「住みやすい」地域の将来像を考え、それに向かって実践していくことが必要です。

地域のいいところをみんなで
見つけてのばしていこう！



→自分たちの地域の課題を改善しより良い地域をつくっていく



目的は「地域の福祉を推進していく」誰もが安心して豊かに生活できる地域づくりを実現していくことにあります。地域のそれぞれの実情にあった福祉を進めていくには、まず身近な地域において住民の皆さん自らが望む地域をつくるのが大切です。

引き続き地域の課題を確認し、地域の将来像を語り合う、その時々々の時代にあった地域づくりのために「地域の暮らしを話す会」で住民参加の機会を中心として、住民の皆さん自ら主体的に参加するようすすめていきましょう。



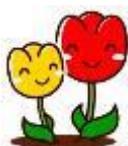
住民座談会で、地域の困りごとをみんなであいましょう！

自然災害などで困ったとき、助けあえるといいね。

顔や名前を知らない人が結構いるからなあ。

あいさつの輪をもっと大きく広げたいな。

子どもの事件が増えて不安だわ。



■小地域って？

小地域とは「住民の顔がみえる地域のこと。その単位は、小学校区や町会・自治会です。地域の実情によって定めましょう。住民の皆さん自ら地域の課題を見つけ、解決していくことが可能な単位です。

★地域の暮らしを話す会は、それを行うことが目的ではありません。話す会を活かして、自分たちが住み良い地域、安心して暮らせる地域をつくっていくことが目的です。

参考文献：山口県社会福祉協議会、平成18年3月「地域で住民のみなさんが住民座談会を開くための手引き」

令和 2 年度実施報告

1)開催状況

泉佐野市社会福祉協議会では、泉佐野市と協働で平成 25 年度・平成 26 年度の 2 か年をかけて「第 2 次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画（いずみさのみんなの絆プラン）」の 2 つの計画を作成しました。

計画の策定にあたり、平成 25 年度に市内の 14 地区で 2 回ずつ、「地域の暮らしを話す会」を行い、そこで出た意見を「いずみさのみんなの絆プラン」に反映したり、新たな取り組みをすすめるための材料にしたりしました。

平成 27 年に完成した「いずみさのみんなの絆プラン」において、「計画の普及をはじめ、地域から出される新たな課題を本計画見直し時に反映」するための場として、地域の暮らしを話す会が位置づけられたことから、行政と社協、CSW が協働で継続的に取り組んで行くことになりました。計画施行 6 年目にあたる令和 2 年度については、コロナの影響により開催できない地区もありましたが、9 月から 3 月までの間に、9 地区で自分たちの日々の活動に関するテーマを中心に話し合いました。

《令和 2 年度「地域の暮らしを話す会」 開催日時・場所・参加人数一覧》

地区	日 時	場 所	人 数
日新	12 月 14 日（月） 18 時 10 分～	ホテルニューユタカ	52 人
佐野台	10 月 11 日（日） 15 時 10 分～	佐野台集会所	20 人
北中	中止		
三小	中止		
末広	11 月 20 日（金） 19 時 30 分～	東羽倉崎南町集会所	16 人
一小	3 月 19 日（金） 19 時 00 分～	元町町会館	23 人
長滝	2 月 15 日（月） 13 時 30 分～	長滝第一町内会館	30 人
	3 月 24 日（水） 14 時 30 分～		30 人
上之郷	中止		
大土	中止		
長坂	中止		
日根野	書面実施		
南中	9 月 24 日（木） 19 時 00 分～	南部市民交流センター	21 人
中央	11 月 7 日（土） 10 時 30 分～	中町町会館	8 人
二小	2 月 26 日（金） 19 時 00 分～	高松総合会館	11 人

のべ参加者数 211 人

2)当日の内容

令和2年度は新型コロナウイルスの感染が拡大し、日本に大きな影響を及ぼしました。それに伴い、初めて発出された緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により外出自粛や、イベント中止・飲食店への時短要請や休業など、日常生活に大きな変化がありました。人との接触を極力避けるようになり、日頃顔を合わせることがあった近所でも合わない日が続き、孤立していく世帯が多くなりました。そんな中、小地域ネットワーク活動を継続するため、現状の活動・注意点を共有することや、新たな取り組みを検討することがテーマとして取り上げられました。

《令和2年度の話し合いテーマの一覧》

地区	テーマ	
日新	コロナ禍における各支部の取り組みについて	
佐野台	「地域の暮らしを話す会」を考える	
末広	コロナ感染拡大に配慮した福祉活動の留意点について	
一小	コロナ禍における地域活動について	
長滝	東ノ番 中ノ番 西ノ番	ふれあいサロンかけはしの今後の取り組みについて
	長滝住宅	福祉委員会活動の振り返りと活動負担解消法について
	新長滝	活動の振り返りと活動を実行するための準備することリスト・役割分担フォーマットの作成について
日根野	活動状況に対する思い・今後の活動に向けて	
南中	コロナ禍での福祉委員会活動について	
中央	コロナ禍での各支部の取り組みの共有	
二小	コロナ禍における地域活動について	

※令和2年度の北中・三小・上之郷・大土・長坂地区は、中止となっています。

日頃から地域の福祉活動に取り組んでいる方々が、地域にどのような課題があると感じ、そのためにどのように取り組めばよいと考えているかを明らかにすることは、今後の地域福祉の充実を図っていくうえで非常に大切な情報になります。

似たようなテーマを選んでもその地域のもつ歴史性や地理的条件によって出席者の意見は異なります。

地域の暮らしを話す会の効果

地域の暮らしを話す会で出た意見を参考にしながら、具体的な取り組みにつながった事例が生まれてきています。

佐野台地区福祉委員会 地域での新たな話し合いの場づくり

テーマ「地域の暮らしを話す会を考える」

だんじりがないので、若い人が集まれることを考えたい

支部ごとにまとめて話すだけでは各支部の問題点を披露するだけ

もっといろんな層の参加者が必要

他の支部も同じような課題があるならば、一緒に解決について考えたい。

担い手が不足している

課題を解決するため、地区全体として考えよう！！

福祉委員会の役員だけでなく色々な立場のメンバーを支部・地区福祉委員会から選出し、プロジェクトチーム（PT）を結成

町会役員

子ども会

長生会

協力員

民生委員

保護司

地区福祉委員会役員

役員 の 分担

地区の行事と支部の行事

話し合いのテーマ

新たな担い手への声

地区活動の良さ

これまで支部の事は支部で考えていたが、全体で共有し課題解決の検討を行うことで、多様な意見が出るようになった。この経験を蓄積し、参加者が変わっても地域全体で、同じ課題に対して考え、解決に向けて一体となって活動できるように継続していく。

増えています！誰もが集えるコミュニティカフェ

地域の暮らしを話す会では、「地域の人たちが気楽に集える場」「互いに顔見知りになる機会」の必要性を求める意見が多くでていました。また、「町会館の有効活用」「町会について知る機会」の必要性をみとめる声もあがっています。このような声に対する解決策の一つとして、カフェ活動が広がりを見せてきています。

コミュニティカフェのポイント&メリット

①定期的を開催している	その日にいけば、誰かに会える、という安心感。閉じこもり防止につながる。
②誰でも参加可能	互いに顔見知りになる機会になる。
③自由に入退室可能	自分のペースで参加できる。(体調や都合にあわせて参加できる)
④自由に話ができる	困りごとの発見や支援の情報提供がされたり、新たな企画のアイデアが生まれたりする。
⑤身近な場所で開催	地域内にある資源の有効活用、地域への愛着をうむ

地区福祉委員会が行っているカフェ型活動（令和3年7月現在）

実施地区	場所	開催日時
一小地区 松原団地住宅「ふれあい喫茶」	松原団地ふれあい	毎週火・土 10:00~12:00
三小地区「旭町カフェ」	旭町会館	毎月第3木曜日 13:30~15:30
日新地区「上瓦屋ラウンジ」	上瓦屋町会館	第1・2・3・5水曜日 13:00~15:00
一小地区「サロン・ド・松原」	松原町会館	毎月第1・3日曜日 10:00~12:00
佐野台地区「西佐野台げんきカフェ」	西佐野台町会館	毎月第3土曜日 13:30~15:30
中央地区「松風台サロン」	松風台自治会館	毎月第2日曜日 10:00~12:00
佐野台地区 南泉ヶ丘「カフェよりみち」	南泉ヶ丘町会館	毎週木曜日(第2週除く) 13:00~15:00
中央地区「中町カフェ」	中町町会館	毎月第3水曜日 10:00~11:30
長滝地区「新長滝カフェ」	長滝住宅集会所	月1回第3土曜日か日曜日のどちらか 9:30~11:30
一小地区「西本町カフェ」	西本町会館	毎月第3日曜日 10:00~12:00
日根野地区「西上カフェ」	西上町内会館	毎月第2水曜日 13:30~15:00
末広地区 東羽倉崎自治会「おしゃべりカフェ」	東羽倉崎自治会集会所	毎月第4金曜日 11:30~13:30
末広地区 羽倉崎上町「スマイル・カフェ」	羽倉崎上町集会所	毎月第2金曜日 13:30~15:30
三小地区「しんまち茶論」	新町長生会館	毎週水曜日 10:00~12:00
日根野地区「野々地蔵カフェ」	野々地蔵町内会館	毎月第2水曜日 13:30~15:30
南中地区 檜井東「笑茶話茶カフェ」	檜井東会館	毎月第1日曜日 9:00~11:00
末広地区 東羽倉崎南町「ふれあい喫茶なでしこ」	東羽倉崎南町自治会館	毎月第2金曜日 13:00~15:00

その他、これまでの「地域の暮らしを話す会 実施報告書」に掲載した事例

平成 26 年度 実施報告書	買物支援の取り組みが動いた事例
	成年後見に関する取り組みを後押しした事例
平成 27 年度 実施報告書	長滝中ノ番子育てサロンの設立
	旭町カフェの設立
	町会加入を促進するための上之郷地区福祉委員会の取り組み
	買物支援の取り組みが動いた事例（27年度の取り組み加筆版）
平成 28 年度 実施報告書	中町カフェの設立まで
	樫井東自主防災会の設立と防災訓練の実施まで
平成 29 年度 実施報告書	西上カフェの設立まで
	PDCA サイクルを取り入れた災害に強いまちづくりに向けた取り組み【長滝地区】
	泉陽ヶ丘支部福祉委員会の取り組み
平成 30 年度 実施報告書	土丸支部福祉委員会の花見大会の取り組み
	平成 30 年台風 21 号被害の経験を今後活かすために
令和元年度 実施報告書	「担い手」に関する意見、たくさん出ました！
	長滝地区福祉委員会の年間を通した話す会（事業調整会議）の実施

事例の詳細は、それぞれの年度の報告書をご覧ください
 （泉佐野市社協ホームページに PDF 版を掲載しています）<https://izumisanoshakyo.or.jp/>

ミニコラム

社協の地区担当者の役割

泉佐野市社会福祉協議会では、地区福祉委員会の活動を支援する「地区担当職員」を配置しています。社会福祉分野における援助技法における、地域社会に対する支援技法（コミュニティワーク）を用いながら、地区福祉委員会等の地域組織の支援を行っています。

泉佐野市社協における地区担当者の役割・機能

- ① 組織の運営支援 …会議の進め方や資料の作成などの助言や支援
- ② 地域福祉活動の進め方に関する助言・支援
…運営の助言や、他地域の活動見学の調整など
- ③ 担当地区内の社会資源の把握と周知
…サロン活動の紹介（小地域ネットワーク活動報告集会等での発表の場づくり）など
- ④ 地域福祉活動の担い手の養成
…ボランティア講座の開催や出張講座の実施など
- ⑤ 活動から発見した福祉課題と専門機関との間の連絡・調整機能
…ネット対象者の困りごとを発見したボランティアや民生委員に対して専門相談機関を紹介する、地区福祉委員会と福祉施設や企業、行政などが連携できるように間で調整を行う、など

各地区ででた意見の詳細

各地区における地域の暮らしを話す会ででた意見
(ふせんに書かれた意見)を、すべて書き出しました。

日新地区 地域の暮らしを話す会

日時 : 令和2年12月14日(月) 18時10分～19時00分

場所 : ホテルニューユタカ

参加人数 : 52人(上瓦屋10名・湊12名・中庄11名・泉陽ヶ丘9名・日新小学校2名)

テーマ : 『コロナ禍における各支部の取り組みについて』

上瓦屋支部

【現在の取り組みについて】

コロナ禍における福祉委員会活動について、どのような工夫(対策)をしていますか？	
カラオケは個人でマイクカバーを用意	
町内会主催のサロン活動には毎月1～2回参加していました	
過密防止(人数制限)・検温・換気・手指消毒・マスク着用	
ソーシャルディスタンス・できたら中止・屋外で実施	
お菓子は個包装の物を提供する	
毎月1回は高齢独居者の安全・安否確認をしています	
時間を短縮する	12月は会議を一時中止
参加者やネット対象者の方からコロナ禍の活動についてどのような声がありますか？	
コロナではなかったが夏季、熱中症で入院された方がいました	
元気塾に合わせて再開したい	時間短縮
コロナ禍の今、大切にしたい活動、活動再開前に見直したい活動はありますか？理由も合わせてお答えください。	
メディアの報道に準ずる	
安否確認は継続していきます	今まで通り(会議)
少人数で訪問回数を増やしてはどうか	ラウンジ開催

【これからの取り組みについて】

コロナウイルス感染症が落ち着いた頃に取り組みたいイベントは何ですか？	
今はコロナ感染をくいとめれるように願うばかりです。	
ネット対象者を観劇へ	
その他	
友愛訪問を廃止した代わりに、各支部単位で対象者と児童が集う場をコロナ収束後に開催したい。	
運動不足の解消をしていく	
毎月1回ですが、協力員さんと一緒に小学生の下校時の見守り活動をしています。今後も続けて活動していきます。	

泉陽ヶ丘支部

【現在の取り組みについて】

コロナ禍における福祉委員会活動について、どのような工夫（対策）をしていますか？	
個別訪問時、フェイスシールド・スポーツドリンク・マスクなどの配布	
1 2月に個別訪問にて弁当・ケーキ・お花を配布	
三密を避けるため、従来毎月行っていた会合に代え、役員が各家庭を訪問	
皆さんの嬉しそうな顔が見れてよかったです	毎月1回安否・健康状態を確認に訪問
本年度、高齢者サロンは中止	1 2月に2回会議開催（新民生委員の紹介）
参加者やネット対象者の方からコロナ禍の活動についてどのような声がありますか？	
実施して欲しいが（中止）はやむを得ないでしょう	
早くサロンをやって欲しい	
参加したいが、コロナで寂しい	早く皆さんと会って話がしたい
訪問していただけて嬉しい	外出の機会が少なく困っている
コロナ禍の今、大切にしたい活動、活動再開前に見直したい活動はありますか？理由も合わせてお答えください。	
これからの活動どうして欲しいかアンケートを取る	
集まりのできない今、個別訪問はありがたいとの声が多いです	
民生委員として一人暮らしをしている人に声をかけたい	
再開したいけど、今集まらない状況です	生活上必要な買い物ができるか調査する

【これからについて】

コロナウイルス感染症が落ち着いた頃に取り組みたいイベントは何ですか？	
コロナ感染症の拡大により、体調の変化があったか尋ねる	
今はまだ決まっていますが、再開できるようになれば皆さん喜ばれると思います	
月に1回は訪問やっています	
サロンの再開についてそのような考えとしておられるか調査する	
月1 サロンの再開	従来通り月1回開催する（会議）
その他	
高齢者サロン・個別訪問 参加者に希望事項についてアンケートを取る	

中庄支部

【現在の取り組みについて】

コロナ禍における福祉委員会活動について、どのような工夫（対策）をしていますか？	
必要に応じ資料のみで会議の対応。電話でのやりとりや3密回避を徹底して時間を短くしています。	
本来は月1回開催だがコロナ禍のため中止	会館に集まれなかったため出席しなかった
回数を減らして最低限の訪問をしています	必要に応じ

子育てサロンは中止	カフェは長生会と合同で
花筏でカフェ実施中	回数を減らして行っている
参加者やネット対象者の方からコロナ禍の活動についてどのような声がありますか？	
短時間の面接来て欲しい	
行事予定あるか？	お年寄りにはコロナを怖がっています
コロナ禍の今、大切にしたい活動、活動再開前に見直したい活動はありますか？理由も合わせてお答えください。	
みんな元気に集まって話をし、楽しく過ごしたい	春・夏・冬、今まで通りに行く
子育てサロン再開検討中	定期的な開催
一人暮らし訪問活動	定期的な訪問
電話で	必要に応じて

【これからについて】

コロナウイルス感染症が落ち着いた頃に取り組みたいイベントは何ですか？		
屋外でお花見やいままでの行事を復活したい		
日時を決めて訪問	電車で遊ぼう	
参加者の数がまとまれば開催しない	月1回会議開催	
会議はなるべく開催していく	昨年と同様程度に再開に	
花見会	寄せ植え会	観劇会
保育園と再度相談	電車で遊ぼう	参加者の数がまとまれば再開したい
その他		
なし		

湊支部

【現在の取り組みについて】

コロナ禍における福祉委員会活動について、どのような工夫（対策）をしていますか？	
三密、コロナのため中止	
（高齢者サロンでのちぎり絵）計画していましたが、中止となり申し込み者に配った	
開催するときは消毒（床・椅子）、窓を開けて換気する	
三密のため中止、いかに短時間できちんと伝えるか	
今は中止していますが、消毒をしてもらって窓を全開にして空気入れ替えをしております。マスクをすることにしています	
三密を防ぐために子育てサロンを中止、通常クリスマスパーティだが、プレゼントを持って自宅訪問	
医療者の負担減を考えて中止	（訪問時）事前電話をしてマスクをする
福祉委員会の会議は時間短縮で開催	連絡はグループLINEを活用
参加者やネット対象者の方からコロナ禍の活動についてどのような声がありますか？	
交流がしたい。元気がなくなった。張り合いが無くなった	
サロンは開いて欲しいがコロナになるのはダメなので中止は仕方がない	

活動が全て中止になると体がなまる	
ちぎり絵を作る予定でしたが、密になるので各自自宅ですることになり残念でした	
コロナ禍の今、大切にしたい活動、活動再開前に見直したい活動はありますか？理由も合わせてお答えください。	
外に出る機会が少ないので何か運動できることを考える	
引きこもりや認知症になったりするので早く再開したい	
外に出て日光に当たり、ぶらぶら歩くのが良いと思います	
保育園に行く子どもさんが多いので子育てサロンに来てくれる子どもさんが少ない。平日より土日の方が集まってくれるでしょうか？	
見守りが必要	高齢者サロンを認知症予防にも早めに再開を
卓球・ディスコン、楽しくできる運動	声掛け

【これからについて】

コロナウイルス感染症が落ち着いた頃に取り組みたいイベントは何ですか？	
皆様が楽しみにしているので桜・紅葉の季節に出かけたいと思います	
外出できるようにしたい、お花見でもいいし、観劇でもいいです	
何かイベントを、会館で物づくりとか、歌体操とか！	
皆さんコロナ禍でどう過ごされていたのか聞きたい	
一日も早く子ども達に来てもらいたい	
(子育てサロン) 参加者が少ないため他支部と共同でイベント開催	
顔を合わせる回数を増やしたい	カフェをしたい
その他	
高齢者(デイサービス・通院)も、子ども達(塾・習い事)も平日のイベントは参加しにくい	
子ども(小学生)を対象にイベントを行いたい(子ども会がないため)	
ボランティアを増やす努力	民児協高齢者部会で社協にて友愛電話に参加

佐野台地区 地域の暮らしを話す会

日時 : 令和2年10月11日(日) 15時10分~16時00分

場所 : 佐野台集会所

参加人数 : 20人(佐野台支部6人、西佐野台5人、東佐野台2人、南泉ヶ丘7人)

テーマ : 「地域の暮らしを話す会」を考える

佐野台支部

地域の暮らしを話す会の現状について(地域課題)

台風21号の際に若い人が率先して協力してくれた。だんじりのある他の地域では青年団が活動した例もあるので若い人が集まれることを考えたい。

西佐野台・東佐野台支部

地域の暮らしを話す会の現状について(地域課題)

3年後に佐野台地区に150件程度の家・マンション建設予定あり。佐野台小学校の生徒数も現在の130面から倍になる見込み。地域の変化に対応するためには今から考えて行かなければ間に合わない。

声掛けをしてもネット対象者が増えない。支部の人数が減っている。支部の消滅の危機に瀕しているが。継続していきたい。

南泉ヶ丘支部

地域の暮らしを話す会の現状について(地域課題)

担い手不足・後継者不足

次の世代をどう育てていくか、どう発掘するか

50代~60代に声をかけていく。できることから地区の行事に参加してもらう。

近所に困っている人がいないか住民全体で気を配る雰囲気にしていきたい。

末広地区 地域の暮らしを話す会

日時 : 令和2年11月20日(金) 19時30分~20時30分

場所 : 東羽倉崎南町集会所

参加人数 : 16人(東羽倉崎南町1人、東羽倉崎町2人、長滝第一住宅3人、新安松5人、東羽倉崎自治会4人、羽倉崎上町1人)

テーマ : コロナ感染拡大に配慮した福祉活動の留意点について

東羽倉崎南町支部

◇現状について

協力員が増えていない。ネット対象者を増やすことができない。

子ども向けのイベントを開催した。ハロウィンに上映会を実施し子育て中の親世代とも交流できた。

◇今後について

第一に協力員の増加と並行して、本当に定期的な安否確認が必要なネット対象者を評価し、ネット対象者の増加に努めたい。

12月に子ども向けのイベントを開催し、子育て世代へのアプローチも継続したい。若い担い手を募っていく。

12月にコミュニティカフェを開催し、来年以降はグラウンドゴルフの部会設立も検討中。部会制度を進めていきたい。

長滝第一住宅支部

◇現状について

(高齢者当人が本人家族宅で療養されていて)1名のネット対象者への衛生用品配布とアンケートができなかったこともあった。

高齢者サロンでは、手指消毒や検温、体調確認を行った上で参加していただいた。ただ、ソーシャルディスタンスを考慮して椅子や座布団を間隔離れて準備していても、各自で近くに寄せて会話をしてしまうこともあり、密を避けられないので開催の継続が難しくなった。

◇今後について

今まで以上にネット対象者の体調や所在(入院/入所/家族宅での療養)の把握を努めていきたい。

食事やカラオケ以外を企画したサロンもいつか検討していきたい。

若い方にも安心して参加して貰えるように変えていく。

新安松支部

◇現状について

コロナ禍でも、個別支援活動(安否確認訪問/お誕生日お祝い)や安全パトロールは継続できている。したがって、つながりが途切れることはない。

例年の5月/7月/9月に開催している高齢者サロンは休止。
町内の防災のアンケート回収結果が99/400であった。住民の地域に対する関心が薄れていく現状に危機感を感じている。
◇今後について
今後グループ支援活動を再開するためには感染症予防の方法など、正しい知識を得てから取り組んでいくことが大切と思う。
近隣住民への連絡方法が確立できればいい。

東羽倉崎自治会支部・東羽倉崎町支部

◇現状について
昨年の意見でネット対象者の人数を増やすことがあげられていた。訪問活動は可能だがネット対象者が増えることで、グループ支援活動の運営が集会所の収容規模や経済的に困難とのこと。
今年の春の集いは中止。秋の集いは集会所での開催は中止とし、お弁当と住宅火災の注意点のパンフレットを配布した。
◇今後について
担い手（協力員）の高齢化が深刻。新たに50代で協力してくれそうな方が1名いるが、日中は勤めていてなかなか時間が取れなさそう。新しい担い手には活動のハードルを下げて、30分でも携わってもらえるようなアプローチをしていきたい。
食事以外のサロンも検討したい。
12月に東羽倉崎町会館が新たに建ち、運動を楽しく過ごせそうな企画を催したい。

羽倉崎上町支部

◇現状について
ディスコンやカフェも会館が狭いので、3密を避けられないことと飲食を伴うこともあり、現在は中止の判断に至っている。（ディスコンは最後に軽食があった）再開していた長生会のカラオケも現在は再度中止になっている。
今年度は何度かアンケートを集計する機会があり、ネット対象者へのアンケートでは本人が入居や入院、家族宅に帰っていた等の理由で集計が困難であった。
ネット対象者へのアンケートの取り組みを反省して、災害のアンケートのときは253/288世帯（回収率88%）のアンケート回収することができた。背景として、町会長から組長へ約2ヵ月かけて何度も繰り返して説明を行っていったとのこと。いかに、住民に浸透できるかを大切に、周知徹底を心掛けてきた。アンケート用紙を紛失してもすぐにコピーを配布していたり、防災訓練時の玄関先にかけるタオルも色や素材に拘らずに、どんなタオルでも“かけること”を繰り返し伝え、浸透しやすいように独自のルールで柔軟に対応していた。
◇今後について
町内会でも町内清掃についてのアンケートを実施し集計済み。いまは会議で集会もできないので、集計結果を用いて来年度の会議で今後の方針を内部で検討したい。

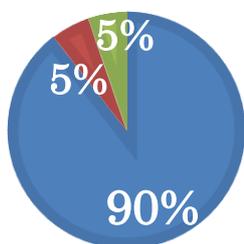
一小地区 地域の暮らしを話す会

日時 : 令和3年3月19日(金) 19時00分~20時30分
 場所 : 元町会館※アンケート実施(2021年1月)、集計結果を推進会議にて共有
 回答数 : 19通
 テーマ : コロナ禍における地域活動について

①令和2年度の行事や活動について

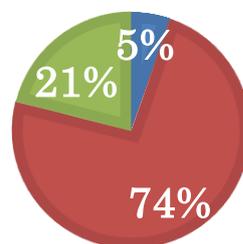
個別訪問 (見守り声掛け訪問など)

■活動中 ■休止/自粛中 ■未回答



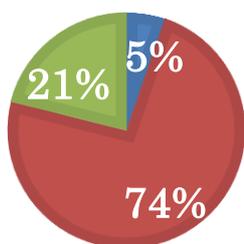
高齢者サロン (食事会など)

■活動中 ■休止/自粛中 ■未回答



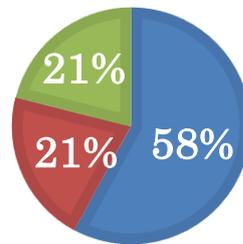
世代間交流活動 (子どもと高齢者の活動)

■活動中 ■休止/自粛中 ■未回答



支部福祉委員会内での 会議や打ち合わせ

■活動中 ■休止/自粛中 ■未回答



② 個別訪問(見守り声掛け訪問など)についての思い (アンケートの主な回答)

どんな活動を	
誕生日訪問	電話での安否確認
毎朝の登校生徒へ挨拶	一斉パトロール
声かけ訪問(マスク着用/玄関越しで距離を取る/インターホン越し等)	
活動して良かったこと、大切にしていること、工夫点	
対象者は喜んでいました。	短時間での訪問をしました。
インターホン越しで声掛けました。	協力員さんと分担して訪問しました。
緊急事態宣言発令中は訪問を休止し、電話にて対応。宣言解除後はマスク着用と間隔を取り訪問。	
こういう時期だからこそ必要だと思うのでマスクを着用し、訪問を継続しています。	
長話しはせず、健康状況を中心に聞くようにしています。	

最近、ご主人を亡くされた方に緊急電話の設置対応をして、喜んでくれました。	
月に1回の訪問ですが、皆さん喜んでくれます。	
会話をすると、笑顔が見られます。	
(特に)一人暮らしの方は様子が気になるので、やる事は大切だと思いやっています。	
敬老の日や年賀挨拶等のプレゼント企画は大変好評だが、コロナ以降はネット対象者が参加できる催しを重視していきたい。	
開催や自粛にあたって心配なことや不安なこと	
コロナで外出しない人が多く、「今日誰とも話をしていない。」と訪問時に聞く。	
足腰の悪い人は1日中、1人でテレビを見ている人が多いよう。	
今できることや今後取り組んでいけそうなこと	
今まで通りで月1回の定期的な訪問	ポスティング訪問
電話やインターホン越し	中止していたプレゼント訪問をしたい。
電話が多かったのでこれからは訪問をしたい。	
その他について	
(訪問ではなく)街中で会った際は世間話をしています。	
一斉パトロールや毎朝7時20分~8時10分まで登校の立ち番をしています。	
高齢者世帯でパートナーの介護疲れしている方にも注意して訪問したい。	
個人情報管理の問題があるものの、訪問履歴や内容をデータベース化したい。	

③ 高齢者サロン(食事会など)についての思い (アンケートの主な回答)

どんな活動を?	
敬老を祝う会(9月に食事会)	
いきいきサロン(12月に講習会をして、弁当を持ち帰って貰う)	
会館/集会所まで菓子や弁当を取りに来てもらう	
ディスコン	毎日ラジオ体操
活動して良かったこと、大切にしていること、工夫点	
食事会という方法を変更して、会館まで弁当やお食事を取りに来てもらいました	
参加人数を半分に振り分けて2回開催する。	外での活動は毎日開催しています。
開催や自粛にあたって心配なことや不安なこと	
感染しない、させないということで自粛しています。	
12月から自粛していて、対象者の体力低下が心配です。	
一人暮らしの方の淋しさが心配です。会話をすることが大事です。	
外に出かけることも少なくなり運動不足です。	みんな淋しがっていて、話したがっている!
自粛要請もあり、集まることが不安。	感染が不安です。
体の衰えが心配です。	コロナ禍では休止は仕方がない。
今できることや今後取り組んでいけそうなこと	
3密にならない工夫と人数を制限すればやっていきたい。	
会館でできないなら、公園で集まっておしゃべり会もあっていいと思う。	
公園でラジオ体操など、BGMがあれば雰囲気もいいと思う。	

他地域の取り組み活動を参考にして、参加率を上げていきたい。	
食事会できないので、取りに来てもらう。	
人数制限すればできそうと思います。	自宅でできる体操などを案内する。
その他について	
感染症対策が取れるかどうか再開の目安です。	元気塾をやりたい。

④ 世代間交流活動(子どもと高齢者の活動)についての思い (アンケートの主な回答)

どんな活動を?	
(11月に) 町内のスタンプ/ウォークラリー	
活動して良かったこと、大切にしていること、工夫点	
外での活動で町内に散らばって実施し、距離を取れた。	
開催や自粛にあたって心配なことや不安なこと	
開催して感染者がでることが不安です。	
その他について	
(支部での) 子どもと高齢者を結ぶ企画が難しい。	
一人一人の関心が大事で、イベントを開催しても参加する人は決まっている。新しい人が参加しやすい雰囲気を作ることが大事。	
交通安全の立ち番の時に声をかける程度。	
(支部で) これまで開催しておらず。	コロナ禍では無理。

⑤ 支部福祉委員会内での会議や打ち合わせ (アンケートの主な回答)

どんな活動を?	
2ヵ月毎の開催	3ヵ月毎の開催
役員に人数を絞って開催(3~4名)	社協を呼んで、意見交換会
活動して良かったこと、大切にしていること、工夫点	
支部会議で話して決まった活動をし、ネット対象者も大変喜んでいただきました。	
定期的に情報共有や意見交換することは大切なので、できるだけやるべきだと思います。	
フリーディスカッションから意見を拾い、年間計画や今後のテーマについて議論を深めた。	
少人数での開催	3密回避
少人数での開催だと意見が出やすいです。	マスク着用、換気、アルコール消毒の徹底
支部会議を通して繋がりができて嬉しいです。	時間を決めて開催することが大事。
みんなが思っていることを意見することが大事。	
開催や自粛にあたって心配なことや不安なこと	
感染対策を取れるかどうか不安です。	
今できることや今後取り組んでいけそうなこと	
継続して定期開催します。	年度末なので短時間でもと検討しています。
少人数且つ短時間	会館の掃除に合わせての開催

その他について
連絡事項は電話で、書類はポスト配布で対応している。
会議は自粛している代わりに、電話やSNSで情報を共有している。
話しやすく和やかです。私にとってこれからが勉強です。

⑥ コロナ禍における新たな地域の取り組みとして、あなたの関心がある事項は？

(アンケート回答)

3密に配慮した屋外での集会（体操や茶話会など）	11名
インターネットを活用したオンラインでの交流	3名
ハガキや手紙でのつながり作り	8名
町会館で子どもや高齢者向けにお弁当やプレゼントの配布	9名
町内・校区内のスポットを回るスタンプラリー	1名
その他	1名
特になし	4名

⑦ その他地域活動について自由記述（アンケートの主な回答）

オンラインでの活動であれば、取り扱い方講習会をして欲しい。
コロナに感染しない/させない気持ちを忘れないで活動する。
もう少し若い人が参加すればいいな。輪を広げよう。
夫（既に他界）の介護経験が大変でした。私の経験談が少しでも誰かの心のケアになればと思います。
地域の課題分析が必要と思う。各年齢層にどんなニーズがあるかを議論できたらいい。

長滝地区 地域の暮らしを話す会

日時 : 令和3年2月15日(月) 3月24日(水) 13時30分~15時00分

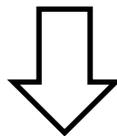
場所 : 長滝第一町内会館

参加人数 : 60人(一日目:30人、二日目:30人)

テーマ : (東 中 西) ふれあいサロンかけはしの今後の取り組みについて
 (長滝住宅) 福祉委員会活動の振り返りと活動の負担解消方法について
 (新 長 滝) 活動の振り返りと活動を実行するための準備することリスト
 役割分担表フォーマットの作成について

東中西

★参加対象者を決めましょう。どんな基準にしますか？	
①みなさんの考える高齢者世帯の基準とは	
70~75歳以上	75歳以上が介護している
家族が居ても日中独居	70~80歳以上
75歳以上	80歳以上
70歳以上、体の悪い人	75歳以上、70歳でも障がいのある人
②みなさんの考える老々介護世帯の基準とは	
75歳以上が介護している	家族が遠くに住んでいて様子を見に帰れない世帯
夫婦共75歳以上、どちらか一方が認知症や疾患がある人で少し寄り添えたら楽になる人	
③みなさんの考える日中独居世帯の基準とは	
家族(同居)がいても日中独りになる人	家族が近くにいても仕事などでいない方
昼間一人で話し相手や手助けが少しあったら心強くなれる人	
④みなさんの考える男性の基準とは	
75歳以上の一人暮らしの男性	退職後近所に知人友人がいない人
個人的なつきあい	さびしくてもさびしいと感じない
話し相手がいない	プライドがあるのでサロンには来ない
出会ったら話しかけると喜ぶ人	



『ふれあいサロンかけはしの対象者は』

- ・75歳以上の人または世帯
- ・希望者やお誘いしたい方(対象者)については、支部会議で検討を行い判断する

東ノ番・中ノ番・西ノ番

★どうやって対象者を見つけますか？どんな風にして声をかけますか？（広報）	
夫婦を対象にすると、男性参加者も増えるのでは	お友達同士の会話の中で参加している方に「こんなんあるよ」と声かけしてもらう
回覧板でサロン開催案内	
★サロンの中身はどんな風にしますか？来てほしい人に合わせて内容を考えてみましょう	
男性には将棋とか囲碁	みんなで歌を歌う
座ってできる体操	お花を生けたり
★今できる工夫はありますか？サロンの時間、座り方や部屋の設定について考えてみましょう	
一人で来ても皆さんと話ができる場にしたい	協力員は対象者に寄り添い大きな声ではっきり笑顔で話す
来た人が一言でも思っていることが言える	マスクを付けていると相手にわかりづらいので次の開催日などボードに書く
サロンに参加している方との会話で情報を聞く	内容説明

新長滝

★新長滝カフェ即売会・展示会振り返りシート	
＜振り返り＞	
①良かった点（当日までの準備について）	
訪問の時、声かけした	
①良かった点（当日の動きについて）	
②改善点（当日までの準備について）	
作品の集まりがつかめなかった	前回のカフェで次開催の準備するのに時間がなかった
高齢者の人が昔趣味でされていた作品があると思うので発掘していきたい。	
②改善点（当日の動きについて）	
会場のセッティング	
★振り返りを踏まえて、今後の新長滝カフェ即売会・展示会でやりたいこと	
①目的～どうして即売会をしようと思ったのか～	
普段来て下さらない方にも興味を得られる	
②来場者～どんな人に来てほしいか～	
一人暮らしの男の人	
③出展者～どんな人に出してほしいか、どんな物を出してほしいか～	
若かりし時に集中していた作品（展示してください）	

★企画案シート

振り返りを踏まえて、次回の新長滝カフェ即売会・展示会の企画案を作ってみよう

<基本項目>

- 企画名：()
- 実施日時：()
- 実施場所：()
- コロナ禍の対策

※喜・マスク
換気・机の
向き広く

<広報>

- いつ
- たとえば「協賛」毎月発行している福祉ニュースに毎回掲載
- 1ヶ月前より声かけの
- 1ヶ月前より声かけの
- 福祉ニュースに掲載する
- 時間をわり？
- コンタクトをとる

住宅の
掲示板に
ポスターを張り
ます

会場までの
送迎

<ワンポイント>

組織で行うボランティア活動を実行するうえで、話し合いが大切です。前回の振り返りを行い、次の活動をどのように企画していくかということ話し合うことが重要です。またこの企画立案シートを使うことで、全体像を把握共有できるので、みなさんで話し合いながら活動を進めていってほしいと思います。

<準備、調整すること(必要物品・出展者)>

(出展者)	(誰が)	(どこで)	(期日)
訪問の時	協力員		半年から1年
購入品	協力員	近頃のスーパーなど	カフェ前日(2ヶ月前)
貸出品	当番(協力員)	社協など	カフェ前日(2ヶ月前)
その他			

カズの開催の時考慮の力仕事はいくばくか

<前日スケジュール・準備すること>

8:30 集合
準備<送迎、カズスタート>
9:30 カズスタート
11:30 終了
支那会議
12:00 終了

<当日スケジュール・準備すること>

長滝住宅

★福祉委員会活動の振り返りと活動の負担解消方法について

欠席のためワークが出来なかった

日根野地区 地域の暮らしを話す会

日時・場所・参加人数：書面により実施

テーマ：

①活動状況に対する思い

活動を中止や開催にした理由、中止や開催にあたって心配していること・不安なこと、開催した場合はやってよかったこと

②今後の活動に向けて

心配なことや不安なことに対して、今できることや今後取り組んでいけそうなことは何でしょうか？

東上

○活動状況に対する思い	
活動を中止や開催にした理由、中止や開催にあたって心配していること・不安なこと、開催した場合はやってよかったこと	
新型コロナウイルス感染症が拡大している。	
会合にはマスク必着、消毒必須。	
会合については、すべて中止の方向で考えている。	
必要なことについては、協議しながら最低限を注意と予防を考えて開催と考えている。	
泉佐野市でも感染者数がふえており、どこにいても変わらないと考えている。	
3密を避け、こまめな手洗い、消毒液のあるところでは趣旨の消毒に心掛け、外出時にはマスクの着用を心掛けている。	
無症状者も多数いると聞いているので、今は不必要な集合はできる限り避けるべきと考えている。	
クラスターが怖い。	定例会は中止にできない。
暑い時も寒い時も換気がにくい。	集まる人それぞれコロナに対して考え方が違う。
○今後の活動に向けて	
心配なことや不安なことに対して、今できることや今後取り組んでいけそうなことは何でしょうか？	
できる限り開催の方向で考えたい。	オンラインでつなぐ会議の開催。
人数を減らす。	マスクと消毒必須
毎日の体温管理	手洗い・消毒の励行
外出時のマスク着用。	飲食時は大声で話をしない。
集会は短時間で効率よく。	換気に気を付ける。
マスク着用、アルコール消毒	広い場所を借りる。
今しなくていい集会はしない。	少人数でできることは、少人数でする。

久ノ木

○活動状況に対する思い

活動を中止や開催にした理由、中止や開催にあたって心配していること・不安なこと、開催した場合はやってよかったこと

久ノ木では、町自体が小さいため、集まる人数が少ないので細々と開催している状況です。

ラジオ体操の件に関しては、有志で行っています。音、焚火の煙などの苦情があります。

細々とですが、人と会い、会話をするということがいきいきにつながっているのだと思います。

○今後の活動に向けて

心配なことや不安なことに対して、今できることや今後取り組んでいけそうなことは何でしょうか？

今の状況でこれからも取り組み、問題が発生すれば又その時に考えていきたいと思います。

中筋

○活動状況に対する思い

活動を中止や開催にした理由、中止や開催にあたって心配していること・不安なこと、開催した場合はやってよかったこと

個別支援活動については、市報配布時等に継続して声掛けを行っている。

世代間交流については、毎年12月初旬に陶芸教室、アドバルーン教室等を開催し、昼食にカレーライスをつくって食べているが、本年は新型コロナウイルスに加えてインフルエンザの感染を防止する為、中止する。

例年1月に新年会新年会、3月に総会を開催しているが、両方とも飲食を伴い、高齢者が一同に集まるため、本年は中止の予定。

美化運動（川そうじ）については、毎年5月中旬に実施している。参加者には、弁当を渡しているが、コロナ感染症予防のため、本年は、中止した。10月に実施しているビン・カン等の収集については、実施済み（感染防止対策マスク着用等実施）。

総会については、本年は各種役員改選の年であるので、中止できないため開催する（1月）。

子ども会の会員が10名と少人数であるため、クリスマス会についてはお菓子、飲み物のみで簡単なゲームをする予定。ハロウィンの日にはプレゼントを渡すため、役員が子ども宅を訪問した。3月の歓送迎会も今のところ実施予定。

○今後の活動に向けて

心配なことや不安なことに対して、今できることや今後取り組んでいけそうなことは何でしょうか？

短時間の活動で声かけは実施できるので、継続していけそう。

世代間交流会を中止するため、年末ごろ全戸（子ども会会員を含む）にお菓子の配布を考えている

何分高齢者の集まりであるので、感染すると大変なことになるので、いつ活動を再開できるか分からない。

会場を町会館から日根野公民館に移し、感染防止に努めて開催予定。（会場が50名定員になるので何とか開催できそう）

会員数は少ないが、低学年の子どももおり、感染防止には不安が残りますが、趣旨の消毒等気を付けて実施したいと思う。

西出

○活動状況に対する思い

活動を中止や開催にした理由、中止や開催にあたって心配していること・不安なこと、開催した場合はやってよかったこと

参加者同士の密集、密接を避けて、新型コロナウイルス感染を防止する為、中止した。

個別支援活動は、1対1なので密集、密着にはならず、コロナ感染を恐れる人には対面しないで、玄関から声をかける等の方法で行うことにより、高齢者への声かけや安否確認ができた。しかし、全体的に外出が少なくなり、会話の機会が減っているように感じた。

○今後の活動に向けて

心配なことや不安なことに対して、今できることや今後取り組んでいけそうなことは何でしょうか？

今後冬に向けて、感染がさらに拡大することが予想されるため、人が集まるような活動はできないが、委員会の方から個々のお宅に出向いていくことは可能なので、会話の機会を増やすためにも声かけを強化していく必要がある。また、感染症拡大状況によっては、手紙や電話などの通信手段を利用することも検討し、各人に対応した細かい支援ができるように心がけていきたい。

西上

○活動状況に対する思い

活動を中止や開催にした理由、中止や開催にあたって心配していること・不安なこと、開催した場合はやってよかったこと

人気事業の「西上カフェ」は、開催希望も多いのですが、ソーシャルディスタンスを保ちながらおしゃべりができないので、当面中止です。

「元気塾」は10月から再開です。市内でベスト8位くらいまで参加者が増えていたのですが、仕方ありません。マスク着用のため、秋まで待っていました。会場の関係で21名程度で月ごとに男女優先として分かれての開催です。

町会事業が動き始めたので、10月から10名程度集まり、「カラオケ」を再開。クラブとしてではなく、有志の集まりだと遠慮がちにやっているそうです。そこは一人ひとりマイクカバーを持ち注意は足りています。

支部福祉委員会事業としては、盆踊りの招待や世代間交流ができなかったので、残るは認知症予防体操。12月から回数を減らし、1回だけ様子見で再開予定です。

○今後の活動に向けて

心配なことや不安なことに対して、今できることや今後取り組んでいけそうなことは何でしょうか？

コロナ禍において3密を避けて行う事業はかなり限られます。再開したものの、「元気塾」なんかは、半数の参加者になっています。やはり、心配の方が先立っているのでしょうか。そうになると、盛り上がりには欠け、非常に静かで元気のない「元気塾」です。今のところは…

12月15日現在、再開した事業はすべて動いていません。当面というより今年度は再開する見込みはないようです。仕方ないですね。

支部事業では、ネット対象者に年末プレゼントを配り、安否確認をするだけです。ちなみに、年

末行事の青年団による夜警も中止の連絡が今、ありました。

新道出

○活動状況に対する思い
活動を中止や開催にした理由、中止や開催にあたって心配していること・不安なこと、開催した場合はやってよかったこと
太極拳は、6月4日から再開して毎週練習している。会員の一人が自粛期間に剣をみんなの分手作りして、楽しく練習できている。先生からマウスシールドをプレゼント。
パソコン教室は、6月から月に1回開催している。
カフェを3月に初めて開く予定にしていたが中止にした。
令和2年3月8日のお楽しみ会は、1週間前に中止を決めた。通常は、交流会を年2回開催するのですが、当分の間は中止です。
玄関先で、プレゼントを渡し声かけするのでできます。
カラオケクラブは、女性数人のグループで6月から毎週集まっている。音楽をかけて話だけしている時もある。
カラオケ同好会は、男女数人で6月から月に1回開催している。
役員交代するときだったので、時間を短縮し、ソーシャルディスタンスでお弁当持ち帰りにして開催しました。
敬老の日の食事は、7月8月とコロナが増えたので中止。
7月から月1回開催している。みなさんいきいきと体と頭を動かしていました。
昨年度、令和2年2月2日は、コロナの報道が始まり、少し心配したが開催した。今年度は皆が出席すると密になるので、役員だけですするなど考慮中です。
3月だけ中止したが、6月以降継続して行っている。
○今後の活動に向けて
心配なことや不安なことに対して、今できることや今後取り組んでいけそうなことは何でしょうか？
個別支援活動、クリスマスの訪問（一人暮らし高齢者）は、ソーシャルディスタンスでいつも通りに進めていこうと思う。
「頭をフル回転させてます」（参加者の声）会館2階は広く、換気をしっかりしているので大丈夫と思う。
具体的な準備はこれからというとき、コロナ禍になったので、白紙に戻った感じです。
「いろいろ考えすぎても仕方ない」（カラオケメンバーの声）自粛貴3か月歌っていなかったら、声が出にくくなり、声だけでなく脳も休んでいた。しゃべるだけでも気が晴れる。
「新年会は、コロナ対策をやってできたら開きたいけれど難しいだろうな」とおっしゃっていました。
一人暮らしの90歳の女性が、杖も必要だし難聴だが、元気塾に参加されていて、昨年度の「そば打ち」にも来てくれました。
みなさんのご意見を聞かせてください。

野々地蔵

○活動状況に対する思い

活動を中止や開催にした理由、中止や開催にあたって心配していること・不安なこと、開催した場合はやってよかったこと

高齢者のひきこもり防止・誰もが集える場所の提供を目的として開催している。

なぜこのような時に開催しているのか、住民の方々に理解してもらえているか。

短時間ともだちと話すこと、顔を見れたことを喜んでくださり、笑顔で帰ってくれたことが大変嬉しかった。

○今後の活動に向けて

心配なことや不安なことに対して、今できることや今後取り組んでいけそうなことは何でしょうか？

感染症対策を取りながら開催していることを多数の住民の方々に参加・見学してもらうことで、理解をお願いする。

訪問回数を増やし、話を聞いてあげる。

俵屋

○活動状況に対する思い

活動を中止や開催にした理由、中止や開催にあたって心配していること・不安なこと、開催した場合はやってよかったこと

高齢者の方々が、コロナ禍のリスクが高いので、できるだけステイホームが良いのではないかと？

高齢者の一人暮らしの人は、極力外出を避けて家で過ごしている。

クラスターが起きるのが心配です。

今までのように、食事をしながらお話しするのが不安です。

長生会については、高齢者の方がコロナがこわいので、すべての行事を今年はまだ中止にしています。

町会行事で、組単位の会館の掃除では、密にならないように広々と間隔を空けて、手早く掃除を終わらせました。

○今後の活動に向けて

心配なことや不安なことに対して、今できることや今後取り組んでいけそうなことは何でしょうか？

コロナ禍において、できるだけ人との接触を避けるようにするしかない。

南中地区 地域の暮らしを話す会

日時 : 令和2年9月24日(木) 19時30分~20時00分
 場所 : 南部市民交流センター
 参加人数 : 21人(安松/6名、岡本/4名、樫井東/5名、樫井西/6名)
 テーマ : コロナ禍での福祉委員会活動について

安松

①個別支援活動について	
3班で回っている	
<工夫していること>	
対象者にマスクとアンケートを配布している	
距離をとり安否確認を行っている	民児協の取り組みで実態調査を行った
②グループ支援活動について	
子育てサロンは中止している	
子育てサロンを11月以降で再開したいと思っているので、民生委員とこども園の先生と協議を行う予定	
カラオケサロンも中止にしているが、対象者から「なくてさみしい」という声を聞いている。	

岡本

①個別支援活動について	
協力員と民生委員とで月1回訪問している	
<工夫していること>	
マスクの着用	距離をとり安否確認を行っている
<対象者の声・反応>	
買い物にあまり行かなくなった	最近習い事を再開し始めた
②グループ支援活動について	
何か一つ活動を今年、出来ればいいなと思っている	3月の昼食交流会は中止
活動の中止等の判断は役員で話し合い決めている	いつできるか心配している

樫井東

①個別支援活動について	
<工夫していること>	
マスクの着用	訪問時のお話し時間の短縮
距離をとり安否確認を行う	
<対象者の声・反応>	
あまりコロナは気にしていなさそう	

②グループ支援活動について	
カフェ活動（笑茶話茶 café）7月からスタート（第1日曜日開催）	
＜工夫していること＞	
検温	健康チェックシート
換気	飛沫防止シート
消毒	
＜意見＞	
町会長たちと話し合い、9月以降中止になる	コロナに対する偏見
年内再開したい思いがある。再開にあたっては、見守り活動で対象者の声を聞いて判断したい	

榎井西

①個別支援活動について	
65歳以上の独居高齢者を月1回訪問している	
＜工夫していること＞	
訪問前に電話をする	インターフォン越しに話す
マスクの着用	このままではダメなので来年は催しをすることを案内する
②グループ支援活動について	
＜意見＞	
全行事を中止している	サロン活動が出来ないので、その変わりになることを考えている

中央地区 地域の暮らしを話す会

日時 : 令和2年11月7日(土) 10時30分~12時00分
 場所 : 中町町会館
 参加人数 : 8人(市場町1人、葵町3人、中町2人、日根野西2人)
 テーマ : コロナ禍での各支部の取り組みの共有

市場支部

【現在の取り組みについて】

現在行っている活動・休止中の活動(福祉委員会活動)
高齢者サロン(活動中)
個別訪問(活動中)
各種会議(活動中)
ネット対象者・参加者の声や反応は?
毎月の個別訪問は実施している。男女とも、「外出が減った」という声が多かった一方で、女性は交流については活発な人も。方法としてLINEを利用している人がいた。 体力面では、足腰が弱くなったという声が多数あった。
カラオケについては再開の要望があるが、マイクの消毒・三密などの点から控えて頂くよう要請して、今も中止している(長生会・婦人会)

【これからの取り組みについて】

活動の再開に向けて(不安なこと・活動の際の工夫)
未だ当市においてもクラスターが発生している中、再開については悩むところだが控えざるを得ないのが現状。

葵町支部

【現在の取り組みについて】

現在行っている活動・休止中の活動(福祉委員会活動)	
個別訪問(活動中)	子育てサロン(休止中)
敬老のイベント(開催)→敬老お祝い品を個別に配布した	
各種会議(会館の掃除、打ち合わせ/開催中)	
ネット対象者・参加者の声や反応は?	
個別訪問で回ってきてもらって嬉しい。	11月のふれあい交流会(観劇)中止
行事(ふれあい交流会)中止になって寂しい(毎月お誕生日祝いの赤飯を配っている)	
元気塾 15人程度で3密を避けて開催/月1回だが人に会えて嬉しい。	
子育てサロン(7月まで開催)が無くて寂しい。	

【これからの取り組みについて】

活動の再開にむけて（不安なこと・活動の際の工夫）	
コロナウイルスの感染源にならないか不安	
公園や広場を利用して屋外で開催が出来ればと思う（春先に向けて）	
コロナ禍の中活動してみて……	
誕生日の方にお弁当を配る時は喜んで頂ける	
他支部・他地域の取り組みで参考になりそうな点	
公園（屋外）での体操	花を植えている

中町支部

【現在の取り組みについて】

現在行っている活動・休止中の活動	
高齢者サロン（開催中）	子育てサロン（開催中）
個別訪問（開催中）	コミュニティカフェ（開催中）
各種会議（開催中）	元気塾（開催中）
ネット対象者・参加者の声や反応は？	
月1回見守り・個別訪問（活動中）	茶話会（休止中）

【これからの取り組みについて】

活動の再開に向けて（不安なこと・活動の際の工夫）	
やはりクラスターが不安	
マスク・手洗い・ディスタンスを取る（20人くらい）	
コロナ禍の中活動してみて……	
子育ては参加者が多くなった	他町に呼びかけて子育て参加者が増えた

日根野西支部

【現在の取り組みについて】

現在行っている活動・休止中の活動	
個別訪問（訪問メモ・インターフォン越し）	敬老のイベント（プレゼント配布）
各種会議（換気をして開催）	ゴミ袋の配布
ネット対象者・参加者の声や反応は？	
3ヶ月前に大衆演劇が中止、コロナで世界が変わる。楽しみにしていたのに。	
ネット対象者・参加者の声や反応は？	
個別訪問とは別に訪問メモ	高齢者サロン（演劇・食事会・支部会議）中止
本来協力員とネット対象者で行う花植えを、協力員で土を作る人、花を買いに行く人、植える人に手分けして行う。	

【これからの取り組みについて】

活動の再開に向けて（不安なこと・活動の際の工夫）
高齢者サロンの開催お知らせのチラシに、「参加の際は自己責任で」と記入するか、参加のアンケートを取り、イベントの開催を決めるか。
少人数で活動するか、多数で短時間の開催とするか。
コロナ禍の中活動してみて……
人数が少ないので花植は活動する。

二小地区 地域の暮らしを話す会

日時 : 令和3年2月26日(金) 19時00分~20時30分

場所 : 高松総合会館

※アンケート実施(2021年1月)、集計結果を推進会議にて共有

回答数 : 34通

テーマ : コロナ禍における地域活動について

① 令和2年度の行事や活動について

個別訪問(見守り声掛け訪問)		高齢者サロン(食事会など)		小ざくら広場(子育てサロン)	
活動した	活動できず	活動した	活動できず	活動した	活動できず
18名	16名	6名	28名	23名	11名

② 個別訪問(見守り声掛け訪問など)についての思い (アンケートの主な回答)

どんな活動を?	
電話	プレゼント
声掛け運動	安否確認
1回/月の訪問	毎朝登校生徒にあいさつ運動
その際に感じたこと	
コロナも気になったが、一人暮らしの人には人恋しさゆえ、訪問時には、喜ばれた。	
元気で、在宅していない人やデイサービスを利用している人が多い。	
独居老人はコロナに強い危機感を持っていると感じた。	
何うのを待っていてくれ、色々なことを話してくれる。	
訪問して話をするので、こちらも元気がもらえる。	
体調、日常生活の不安や不便を感じている方が居られ、心配です。	
あいさつ運動の時、元気よく挨拶してくれる子どもが多くいる。	
どのようなことが活動を妨げている?	
電話番号を覚えてくれなかったり、訪問を迷惑がられる方もいる。	
コロナ感染が怖いので訪問する回数がどうしても少なくなる。	
自立されている方も多く居る。	電話の声でも様子が伺える。
コロナで個別訪問は大変だった。	元気な顔を拝見できた。
高齢の独居が多い。	外出は極力さげ、家にいることが多い人もいる。
大声で声掛けするとすぐ返ってくる。	対話によって元気度が確認できる。
コロナ禍で訪問しづらいので、大変。	今回のコロナ禍
第3波が特に大波になっていること。	私からの声掛けでないと返事が少ない。
その他について	
良い天気のと看、家にいない人や出かけている人が多い。	
家の玄関数m離れての簡単な声掛けになっている。	
挨拶運動など中学生が模範となってくればと良いと感じる。	

③ 高齢者サロン（食事会など）についての思い（アンケートの主な回答）

どんな活動を？	
交流会中止のため老人宅訪問	おしゃべり
食事会	ぜんざいを炊く
プレゼント	
その際に感じたこと	
皆さんに喜んでいただけて良かった。コロナの感染が少し心配でしたが。	
集まること（イベント）は大切。	
訪問時は、喜んでもらいよくお話しできた。	
どのようなことが活動を妨げている？	
なんと言ってもコロナの影響が大きすぎ。私も外出を控えている。	
自分の足で参加できる人が少なく、つい言葉掛けが出来ていない。	
こちらの方が諦めていることが多いかも。	

④ 小ざくら広場（子育てサロン）についての思い（アンケートの主な回答）

活動に参加して感じたことは？	
思っていたより参加者が多く、喜んでもらえて良かった。	
活動に参加させていただくことで自分自身も勉強になった。	
参加者全員 体温測定、マスク、手の消毒と気をつけたがこれで良いのか不安でした。	
コロナ禍でも安心して小さい子どもと行ける所を求めているのかな。	
コロナが不安だが子どもたちから元気を貰えているように思う。	
男性は何を手伝って良いか分からず困っている。	
お母さんと子どもと一緒に遊んでいる光景がとても良い。	
同世代のお母さん達が子育ての悩みを打ち明ける場にも良い環境となっている。	
協力団体の先生方や協力員により活発に運営されている。	
こういう状況の中だからこそ、小ざくら広場が親にも子にも必要と感じた。	
もっと広く知っていただいて沢山の方に参加して貰えれば、良いと思う。	
感染に気をつけながら参加してくれた。	参加している親子は楽しそうでした。
女性の方のご苦勞に感謝。	感染を考えれば、早い内に中止するのも大事。
電車でゴー 今年も出来て良かった。	
その他について	
これからも充実した内容で喜んでもらえる時間を作っていきたい。	

⑤ 今後、地域で取り組んでいけそうなこと（アンケートの主な回答）

個別訪問活動	
こちらからもっと大きな声掛け運動をすればよいかも 今まで通り1回/月の訪問を続ける。	
訪問するときにはしっかり感染予防対策 出来ないときは電話で近況を聞く。	
独居老人宅の訪問はコロナ禍の中でも注意したらできる。	

一人暮らしの方へ 毎月か1回/2月に一度手紙を郵便受けに。12月にお米をプレゼント。	
個別に夜に電話をしたり、様子を聞いて相談に乗ったりした。	
閉じこもりがちなので、出てくる切っ掛けが必要。	
今年も高齢者対象の交流会等は中止した方がよい。	
短時間でも訪問していく。	電話での声掛けがプレゼント。
基本は電話による安否確認。	
高齢者サロン	
集まる機会を作る。	6月の交流会の準備をしっかりしたい。
おせち料理を配膳したい。	自ら参加が難しい人に何か良い方法を。
コロナが落ち着けば今まで通りの交流会開催	
小ざくら広場（子育てサロン）	
今まで通りでよい。	
季候が良い時期は、公園などで広くスペースをとれる外での活動も増やす。	
感染状況が大幅に収束しない間は中止した方がいい。	
各地区の子育てサロンを見学し、取り入れられるものを探す。	
コロナ禍に気をつけて参加、協力。	感染予防に気をつける。
オンラインでの交流。	プレゼントの配布。

⑥ コロナ禍における新たな地域の取り組みとして、あなたの関心がある事項は？

(アンケート回答)

項目	人数
3密に配慮した屋外での集会	11名
インターネットを活用したオンラインでの交流	4名
ハガキや手紙でのつながり作り	3名
町会館での子どもや高齢者向けにお弁当やプレゼントの配布	13名
町内・校区内のスポットを廻るスタンプラリー	1名
特になし	6名
その他（電話での声掛け）	2名

⑦ その他地域活動について自由記述 (アンケートの主な回答)

オンラインでの交流は高齢者の方には返ってストレスになると思う。
本市でも感染者が増えている状況を軽く考えない方がいい。
お弁当の配布も留守が多かったりすると置いとけなくて大変。
隣組の重要性をアピール。
協力員、推進委員だけでなくもっと多くの人に参加するようアピールが必要。
高齢者サロンや交流会、小ざくら広場などの活動時間は、お昼の時間帯で仕事なのでお手伝いできない。
コロナで納涼祭も中止になったが、今の開催形態等も考えてみる時期ではないかな。

作成者：社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会
作成日：令和3年12月

この冊子は、《泉佐野市安心生活創造推進事業》に基づく補助金によって作成しました。